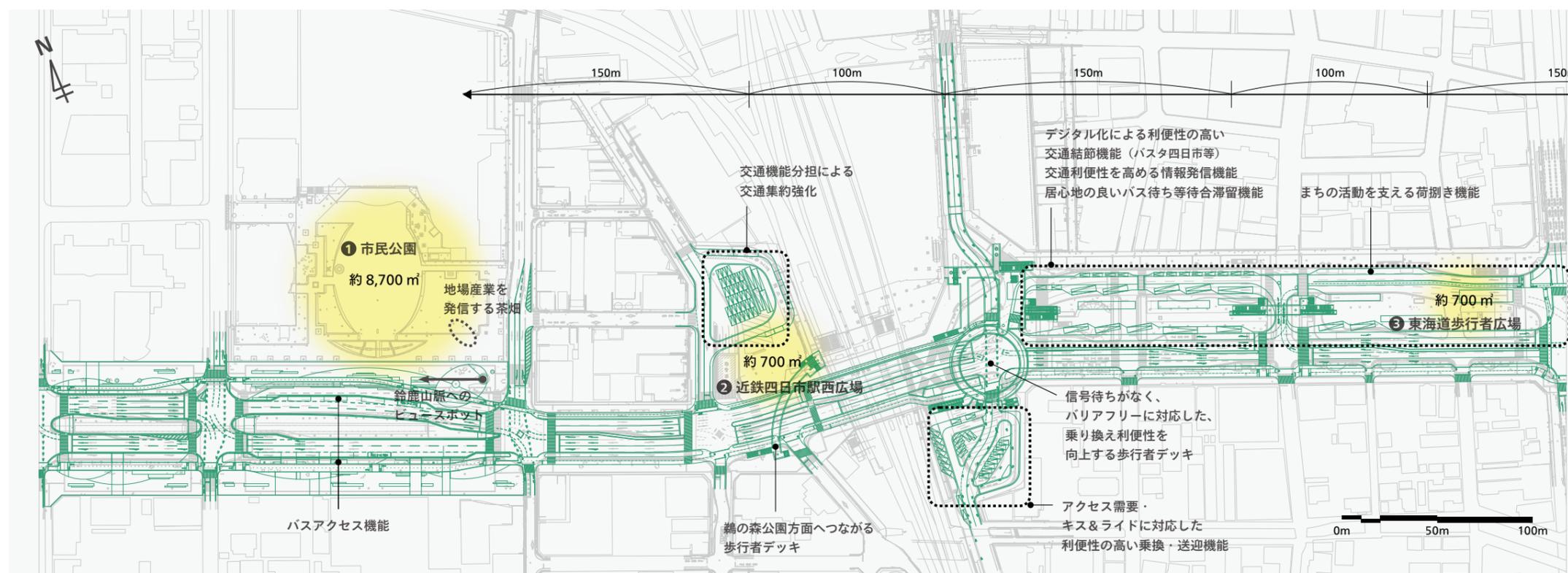


## 2-3 個別施設の デザイン方針

### 2-3-1. 各オープンスペースにおける 利活用の考え方

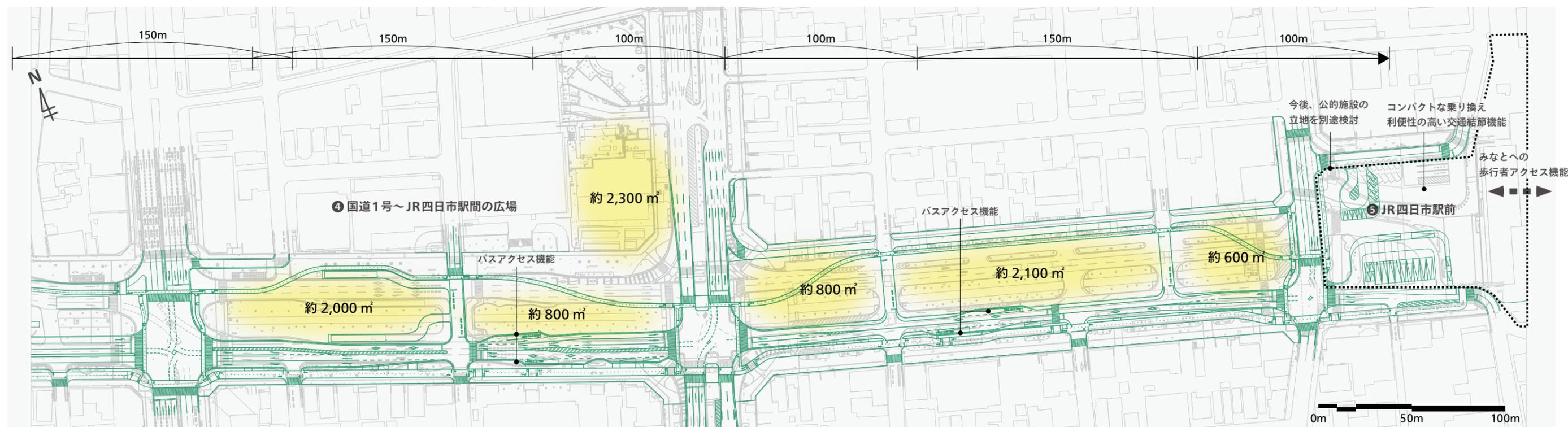
西浦通り～国道1号における、  
各オープンスペースの大きさと配置、  
およびエリアごとの導入機能に  
基づいた利活用イメージを示す



※緑字は市民WSにて出された意見

	① 市民公園	② 近鉄四日市駅西広場	③ 東海道歩行者広場
機能特徴	イベント広場／水景／休憩施設／緑陰	交通結節機能	四日市市の顔・玄関口にふさわしい賑わい交流機能 回遊性を向上させる観光・まちなか案内等の情報発信機能 多様な使い方を受け入れる広場機能
普段時の 使われ方	ジャズフェス、マルシェ、飲食、盆踊り、 市民による緑の管理、子供の遊び場、 バス待ち、休憩	駅へのエントランス、 公共交通の乗り換え空間	休憩（飲食含む）、マルシェ、市、イベント、祭り
利活用 イメージ			

※オープンスペースの面積および利活用イメージは、今後の利用計画の検討においてブラッシュアップしていく予定であり、変更の可能性がある  
※計画図については、今後の検討により変更の可能性あり



④ 国道1号～JR四日市駅間の広場	⑤ JR四日市駅前
-------------------	-----------

機能特徴	市民の生活・文化を豊かにする賑わい交流広場機能	みなととのつながりを感じる、市民活動を展開できる交流空間、交通結節機能、教育・研究機能
------	-------------------------	---

普段時の 使われ方	アーバンスポーツ（スケボー等）、大規模イベント（音楽等）、祭り、文化伝統体験、休憩（飲食含む）、子供の遊び場、市民活動施設、マルシェ、市、イベント	休憩（飲食含む）、市民活動、駅・みなとへのエントランス、公共交通の乗り換え空間
--------------	---	---

- |                |   |   |
|----------------|---|---|
| 望ましい<br>活用のシーン | <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな緑に囲まれたまちなかでプレイを楽しめる</li> <li>夜間も明るく安全に過ごすことができる</li> <li>多様なストリートスポーツが体験できる</li> <li>食事や物販も含めたカルチャーに触れられる</li> <li>いつも新しいイベントがあり刺激に触れることができる</li> <li>雨や日差しを気にせず快適に過ごすことができる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>キッチンカーや店舗と滞留場所が近く長時間居られる</li> <li>いつも誰かが居てまちの新しい側面を知ることができる</li> <li>近隣に住んでも騒がしさを感せず快適な生活ができる</li> <li>そぞろ歩きしながらふらっと入れるお店で楽しめる</li> <li>地域色ある品がセレクトされ「まちの顔」を体感できる</li> <li>道・広場・店舗の区別なく豊かな滞留体験を得られる</li> <li>いつもきれいな場が保たれることでマナーが伝播する</li> </ul> |
|----------------|---|---|

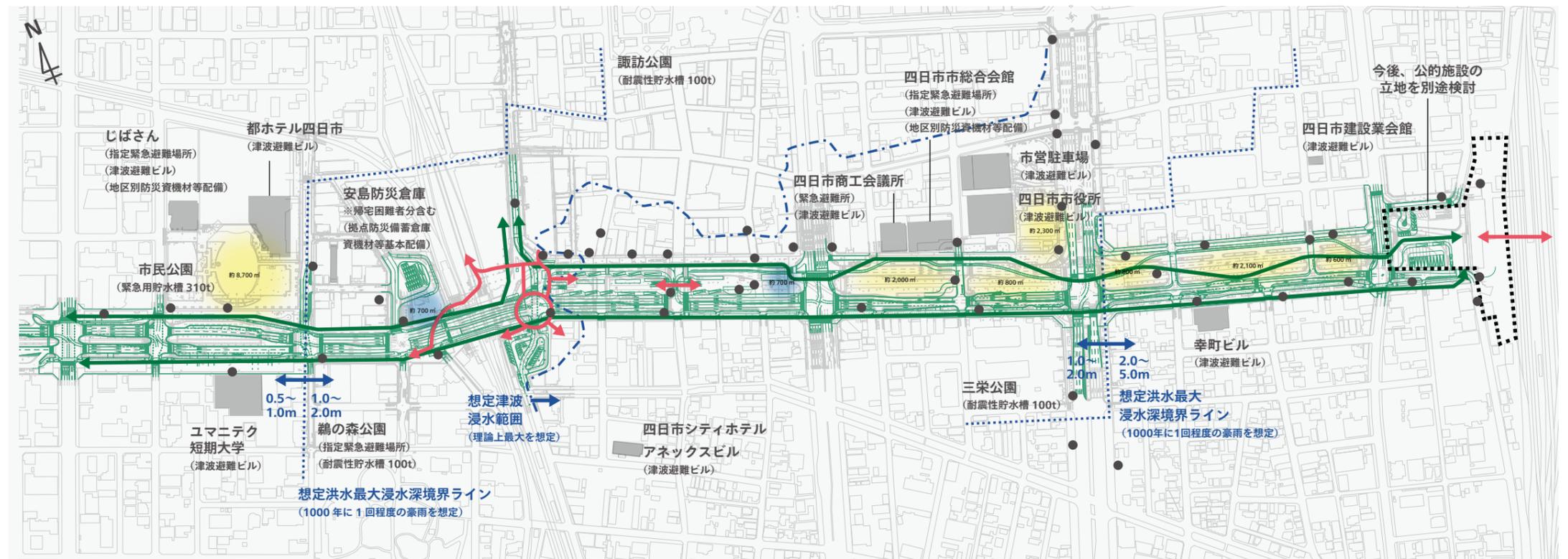


※計画図については、今後の検討により変更の可能性あり

## 2-3-II. 災害時の使い方

- 中央通りでは、バリアフリーに配慮した歩行者動線、徒歩2分程度の間隔で歩行者拠点広場を設置し、交通結節点となる近鉄四日市駅周辺には歩行者デッキ、JR四日市駅とみなとを結ぶオーバブリッジなどの整備を予定している
- 全線を通して整備される歩行者動線や歩行者デッキ・オーバブリッジについては、被災時の避難経路・代替輸送等への動線を基本的な役割として想定

- ➡ バリアフリー動線（地上レベル）
- ➡ バリアフリー動線（デッキレベル）
- 歩行者拠点広場
- 歩行者拠点広場（交通事業者との連携・調整が必要）
- 消防施設（※消防車動線等については消防本部と協議）



### 2-3-II-1

#### 中央通りの被災時の対応について

- 四日市市地域防災計画では、多くの避難者が想定される被災時に、被害の軽減を図るため、大きく2種類の避難所等を整備・指定
- 中央通りについては、今回の再編により屋外のオープンスペースが創出されるため、屋外空間の利用を想定し、避難所ではなく指定緊急避難場所等への活用が望ましい

〈指定緊急避難場所等：数時間程度の受け入れを想定〉

- 災害時の危険を回避するため、一時的に避難する場所または帰宅困難者が公共交通機関の回復までに待機する場所

種別	概要
指定緊急避難場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の危険回避のため一時的に避難する場所又は帰宅困難者が公共交通機関の回復まで待機する場所</li> <li>災害種別に応じてあらかじめ四日市市が指定</li> <li>避難指示などを発令する場合、この指定緊急避難場所への避難を呼びかけ</li> </ul>
緊急避難所 (その他の避難場所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の住民が一時的に災害時の危険を回避するための避難場所</li> <li>地域からの要望により指定</li> </ul>

〈避難所等：日単位での受け入れを想定〉

- 住居を失った人等の避難生活の場所であるとともに避難生活の支援拠点となる施設

種別	概要
指定避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法が適用される程度の災害が発生又は発生する恐れがある場合、または多数の避難者が予想される場合に、市災害対策本部が災害の規模、地域の状況を判断し、あらかじめ決めてある避難場所のうち必要に応じて開設するもの</li> </ul>
福祉避難所 (2次避難所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護が必要等、他の人との指定避難所に住むことが困難な人が滞在するための避難所</li> <li>あらかじめ協定を締結した福祉施設などが対象</li> </ul>

## 2-3-II-2.

## 中央通りにおける災害別の被災想定と対応方針の整理

- 中央通りのオープンスペース（右表①～④）が、指定緊急避難場所としての機能を発揮できるか、想定される災害別に四日市市の指定基準と比較し、災害種別に応じた対応を検討
- 近鉄四日市駅西広場及び東広場、バスターミナル部、JR四日市駅前については、公共交通機関の運行に加え、周辺の防災施設（指定緊急避難場所等）への避難の阻害となるため、指定緊急避難場所等としての活用は想定せず、情報提供（災害情報・交通機関運行情報・駅周辺の防災施設に係る位置情報等）を主とした運用を図る

番号	対象広場	面積
	広場名等	
①	市民公園	面積：約 8,700㎡ (平場面積：約 7,800㎡)
②	商工会議所前広場	面積：約 1,400㎡ (平場面積：約 1,400㎡)
③	市役所前・東広場	面積：約 3,600㎡ (平場面積：約 3,100㎡)
④	三滝通り～ JR四日市駅間の広場	面積：約 3,500㎡ (平場面積：約 3,500㎡)

## 洪水

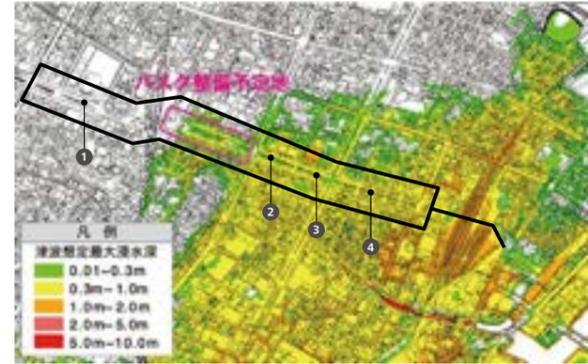
地域の既往最大級の降雨や他地域での大規模な降雨等に対する内水による浸水が想定される区域であり、最大2mの浸水を予測



出典：四日市防災マップ（常盤・橋北・中部地区）より作成

## 津波

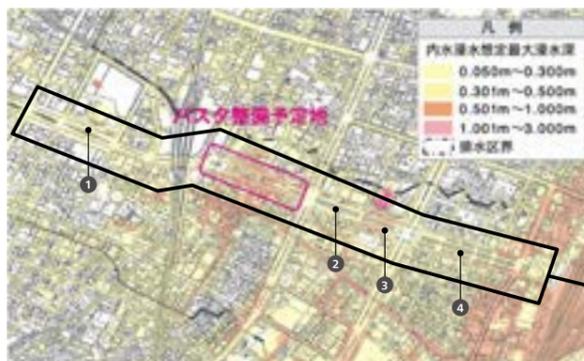
大規模地震の発生に伴う津波により、最大1mの浸水を予測



出典：三重県地図情報サービス津波浸水予測図（H28）より作成

## 内水氾濫

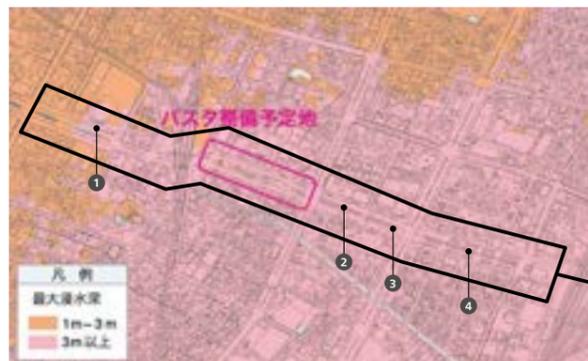
地域の既往最大級の降雨や他地域での大規模な降雨等に対する内水による浸水が想定される区域であり、概ね0.5m～1m程度の浸水を予測



出典：四日市市内水浸水想定区域図（常盤・橋北・中部地区）より作成

## 高潮

最悪の事態（既往最大規模・既往最速規模の台風による高潮に加え、主要河川で計画規模最大の洪水が同時に発生し、堤防等は設計条件に達した段階で決壊）を想定し、最大3mを超える浸水を予測



出典：伊勢湾沿岸（三重県区間）高潮浸水想定区域図（浸水区域及び浸水深）（三重県）より作成

対応	災害別	被災想定
		四日市市 指定緊急避難場所指定基準
A	洪水	想定：台風・集中豪雨により河川が決壊した場合の浸水予測と、道路側溝や下水管などの排水能力を超えてしまった場合の内水氾濫予測を重ねる
		洪水ハザードマップ及び防災マップ（風水害）において、浸水予測が浸水深2メートル未満の場合は2階建て以上の建物、2メートルから5メートルの場合は3階建て以上の建物
	津波	想定：発生する確率は低いものの、理論上では起こりうる南海トラフ地震として「理論上最大クラス」  3階建て以上の建物及びそれ以外の地区の建物
	内水氾濫	想定：想定最大降雨を時間最大雨量 147mm/h とし、概ね1,000年に1回程度起こる豪雨
		内水氾濫想定区域図において、浸水範囲外の建物及び浸水範囲内の2階建て以上の建物
	高潮	想定：既往最大規模の台風である「室戸台風」の高潮による浸水の状況を、複数の台風経路でシミュレーションを実施 この規模の台風が伊勢湾の周辺を通過する確率は、500年～5,000年に1回と推定
		富洲原、富田、羽津、橋北、塩浜、楠地区の3階建て以上の建物及びそれ以外の地区の建物
B	地震	想定：過去概ね100～150年間隔でこの地域を襲い、歴史的にこの地域に繰り返し起こりうることが実証されている地震として「過去最大クラス」  耐震性のある建物及びグラウンドなどオープンスペース
		大規模な火事
C	土砂災害	土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域外の建物

- 基本計画の対象範囲は全長約1.6kmと広く、既に整備されている防災施設との位置関係や沿道の利用状況等により、それぞれの場所で災害リスクが異なるため、ここでは災害種別に応じて各広場での災害時の使い方を示す

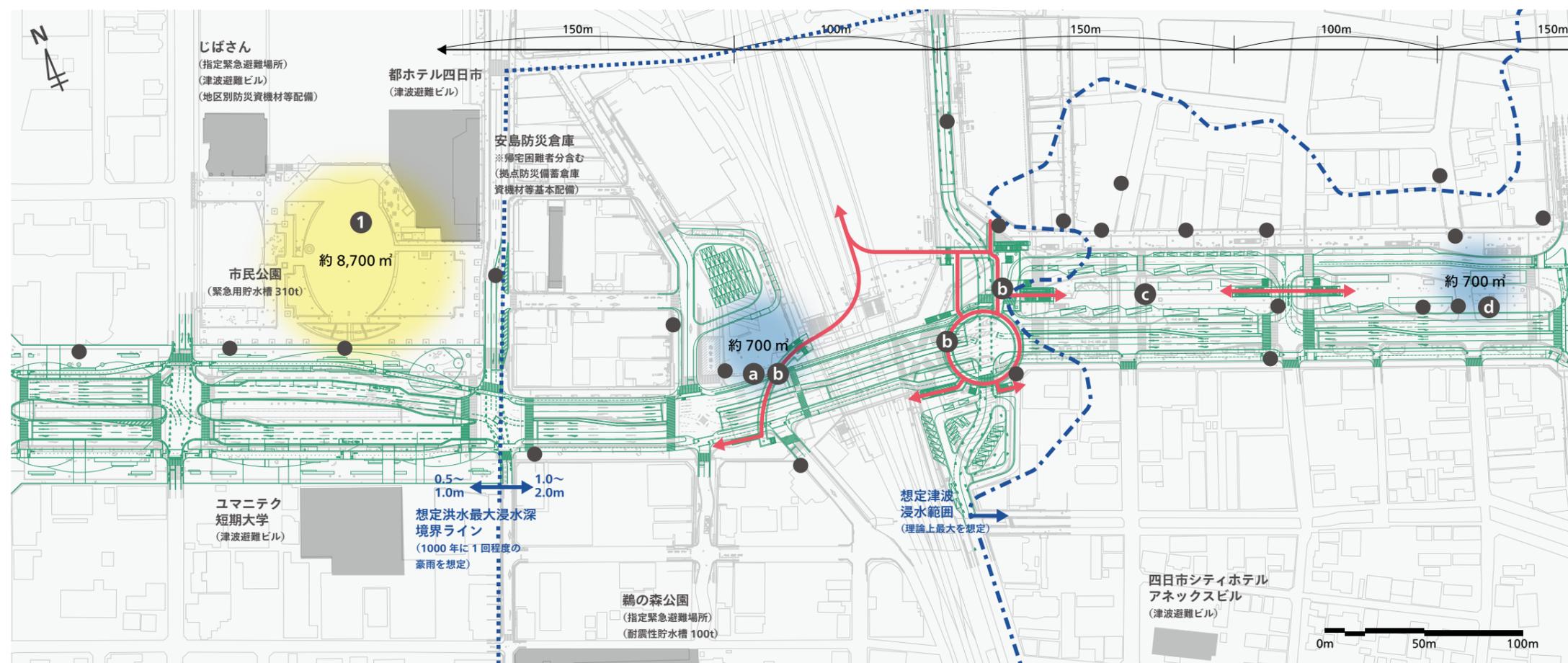
※災害時情報拠点機能として、ICT技術を活用した情報発信方法について今後検討（指定緊急避難場所の疎密度や経路等）

↔ バリアフリー動線（デッキレベル）

● 歩行者拠点広場

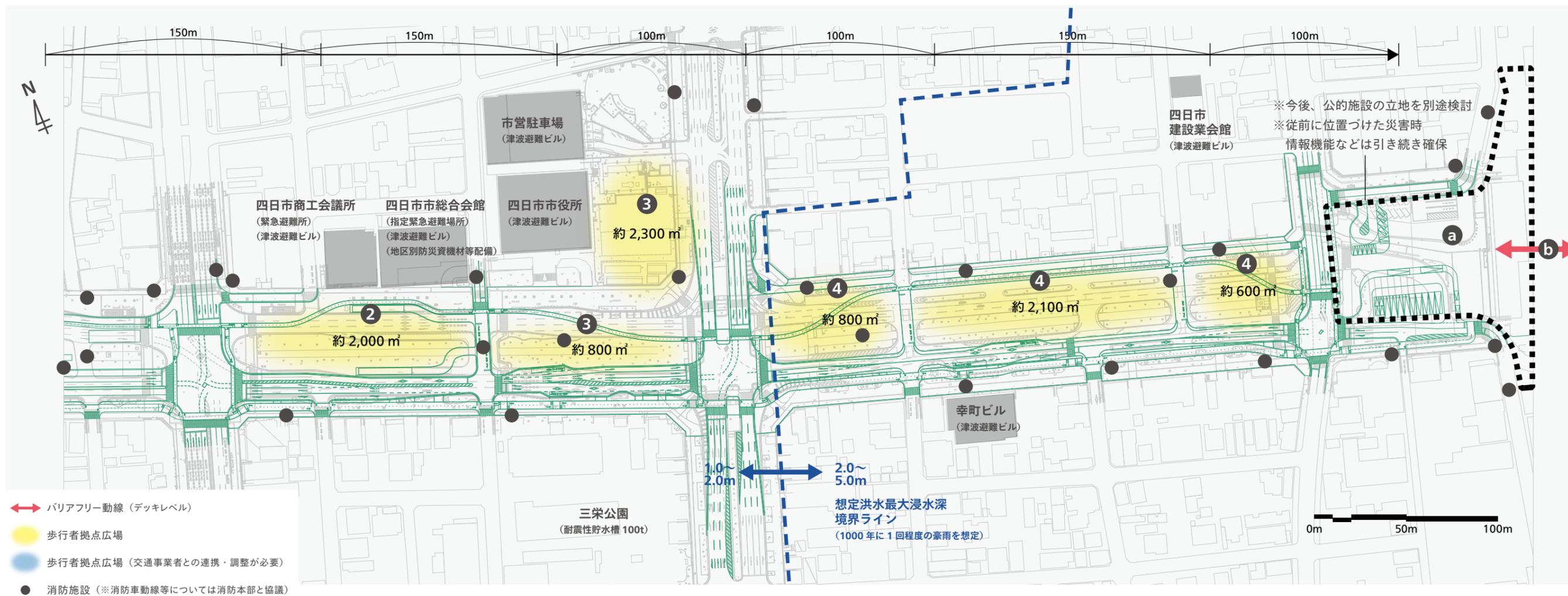
● 歩行者拠点広場（交通事業者との連携・調整が必要）

● 消防施設（※消防車動線等については消防本部と協議）



	① 市民公園 面積約8,700㎡（平場約7,800㎡）	近鉄四日市駅		近鉄四日市駅バスターミナル		
		● a 西広場		● b 駅西デッキ・駅東デッキ・テラス部	● c ターミナル部	● d 東海道歩行者広場
A 洪水	×（浸水想定区域（0.5m～1.0m）に該当）	×（浸水想定区域（1.0m～2.0m）に該当）		○（避難経路等）	×（浸水想定区域（1.0m～2.0m）に該当）	×（浸水想定区域（1.0m～2.0m）に該当）
津波	○（帰宅困難者一時滞在等）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）		○（避難経路等）	×（浸水想定区域に該当）	×（浸水想定区域に該当）
内水氾濫	○	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）		○（避難経路等）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）	×（浸水想定区域に該当）
高潮	×（浸水想定区域に該当）	×（浸水想定区域に該当）		○（避難経路等）	×（浸水想定区域に該当）	×（浸水想定区域に該当）
B 地震	○（帰宅困難者一時滞在等）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）		○（避難経路等）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）	○（帰宅困難者一時滞在等）
大規模な火事	○	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）		○（避難経路等）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）	○（帰宅困難者一時滞在等）
C 土砂災害	○（区域外）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）		○（区域外）	×（公共交通の運行や退避経路の阻害）	○（区域外）
災害情報提供		災害時情報・運行情報の提供 （災害種別や被災状況に対応した情報提供を想定）				
周辺の防災施設 （津波避難ビル等）	じばさん、都ホテル四日市、 ユマニテク短期大学、安島防災倉庫等	じばさん、都ホテル四日市、 ユマニテク短期大学、安島防災倉庫、 四日市シティホテルアネックスビル等				

※計画図については、今後の検討により変更の可能性あり



- ↔ バリアフリー動線 (デッキレベル)
- 歩行者拠点広場
- 歩行者拠点広場 (交通事業者との連携・調整が必要)
- 消防施設 (※消防車動線等については消防本部と協議)

	② 商工会議所前広場 面積約 2,000㎡ (平場約 2,000㎡)	③ 市役所前・東広場 面積約 3,100㎡ (平場約 3,100㎡)	④ 三滝通り～JR四日市駅間の広場 面積約 3,500㎡ (平場約 3,500㎡)	JR四日市駅	
				a 平地部	b オーバーブリッジ
A 洪水	× (浸水想定区域 (1.0m～2.0m) に該当)	× (浸水想定区域 (1.0m～2.0m) に該当)	× (浸水想定区域 (2.0m～5.0m) に該当)	× (浸水想定区域 (2.0m～5.0m) に該当)	○ (避難経路等)
津波	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	○ (避難経路等)
内水氾濫	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	○ (避難経路等)
高潮	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	× (浸水想定区域に該当)	○ (避難経路等)
B 地震	○ (帰宅困難者一時滞在等)	○ (帰宅困難者一時滞在等)	○ (帰宅困難者一時滞在等)	× (公共交通の運行や退避経路の阻害)	○ (避難経路等)
大規模な火事	○	○	○	× (公共交通の運行や退避経路の阻害)	○ (避難経路等)
C 土砂災害	○ (区域外)	○ (区域外)	○ (区域外)	× (公共交通の運行や退避経路の阻害)	○ (区域外)
災害情報提供		災害時情報拠点		災害時情報・運行情報の提供 (災害種別や被災状況に対応した情報提供を想定)	
周辺の防災施設 (津波避難ビル等)	四日市商工会議所、 四日市市総合会館等	四日市市役所、市営駐車場等	幸町ビル、四日市建設業会館等	幸町ビル、四日市建設業会館等	

※計画図については、今後の検討により変更の可能性あり

### 2-3-II-3. 中央通りに備える防災機能

- 中央通りに備える防災機能で対応可能な災害種別を整理
- 「四日市市地域防災計画」への位置付け等については、今後調整を行っていく必要がある

中央通りに備える防災機能			対応できる災害	
情報提供施設	災害発生時の効果的な情報提供機能	災害情報・交通機関運行情報に加えて、駅周辺の防災施設に係る位置情報等を提供することにより、周辺防災施設と連携した防災機能を確保	A 洪水・津波・内水氾濫・高潮	※建物の上層階に情報提供施設を配備
			B 地震・大規模な火事	
			C 土砂災害	
避難経路	近隣の指定緊急避難所や緊急避難所への避難誘導	歩行空間の整備に合わせて駅周辺の防災施設への避難経路を確保し、周辺防災施設と連携した防災機能を確保	A 洪水・津波・内水氾濫・高潮	※近鉄四日市駅周辺の歩行者デッキや、JR四日市駅とみなとを結ぶオーバークリッジを退避経路としても活用
			B 地震・大規模な火事	※バリアフリーに配慮した歩行者動線について、退避経路として活用
一時緊急避難場所	帰宅困難者等の一時緊急避難場所	災害時の危険回避のため一時的に避難する場所、または帰宅困難者が公共交通機関の回復までの待機場所	A 洪水・津波・内水氾濫・高潮	※浸水による被害がない場合に活用可能
			B 地震・大規模な火事	※市民公園（広場①）のオープンスペース約7,800㎡については、四日市市地域防災計画に位置付け済み ※国道1号から東側の中央通りの広場（広場②、③、④）については、四日市市地域防災計画を基に算定した、近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺で不足する帰宅困難者の一時滞在スペース約6,500㎡に対して、約8,600㎡のオープンスペースを確保可能
備蓄倉庫	賑わい施設等と連携した防災物資の備蓄機能	災害時に備えた備蓄品の保管	B 地震・大規模な火事	※建築物の配置や規模、四日市市地域防災計画における位置付けと合わせて今後検討